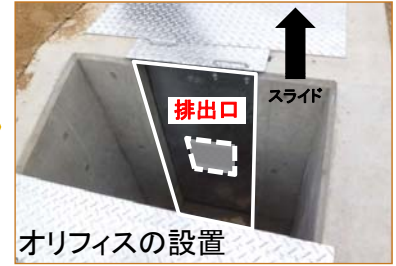
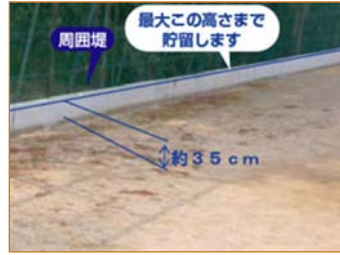


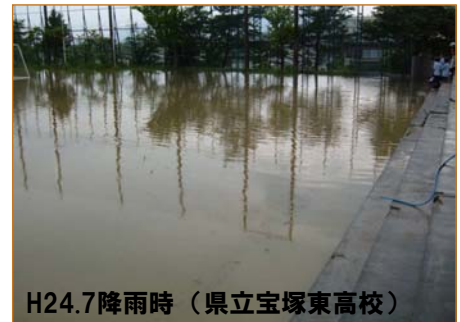
(1) 校庭貯留 **県・市町**

グラウンド・テニスコートに**周囲小堤**を設置し、雨水を一時的に貯留



【県立高校等の取り組み状況】

大雨時に!



H24.7降雨時 (県立宝塚東高校)

● 完了した箇所

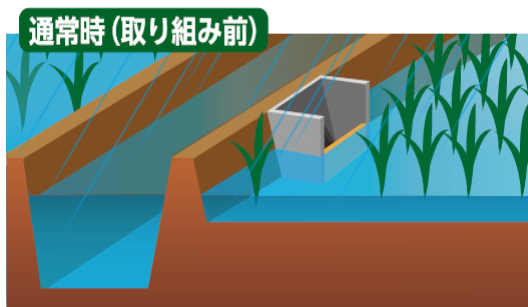
【県】 宝塚東高校、阪神昆陽高校、  
三田西陵高校、兵庫県立大学  
西宮甲山高校

【市町】 西宮市など、ほか10市町立小中学校

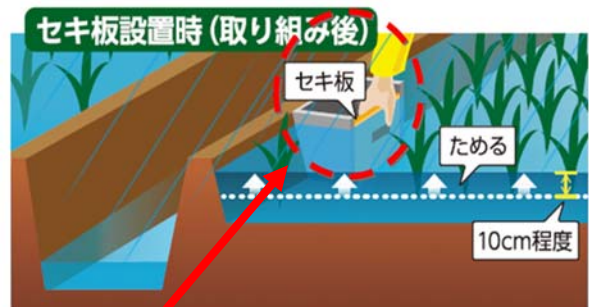
合計 59校

(2) 「田んぼダム」の取り組み

**県民**



通常時(取り組み前)



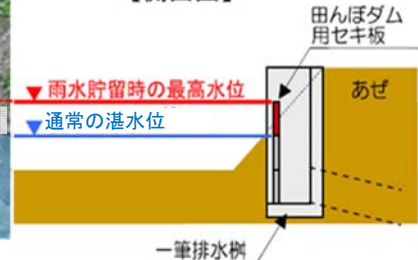
セキ板設置時(取り組み後)



機能分離形排水樹



【側面図】



● 新規にほ場整備する水田に、機能分離形排水樹を標準設置

● 「セキ板1,000枚配布大作戦」を展開中 → 実績4,000枚配布  
約1,000ha(約100万m<sup>3</sup>)で「田んぼダム」取り組み中



田んぼダム実験

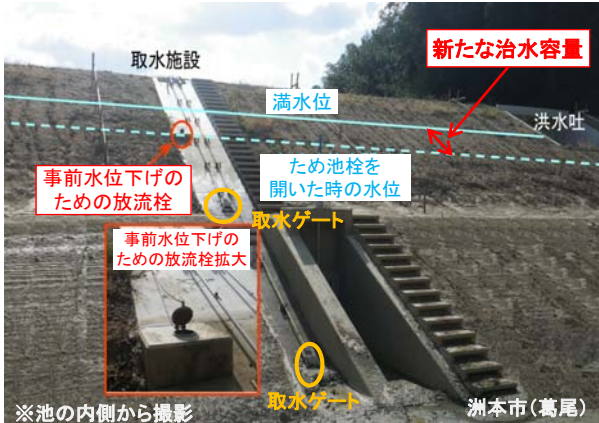
# 県下各地の取り組み 流域対策「ためる」

## (3)「ため池」における事前放流等

全国で最も多い「ため池」を保有

### 取水施設改良型

予め設定した水位にあわせて**放流栓を設置し**、水位を下げられるようにする。



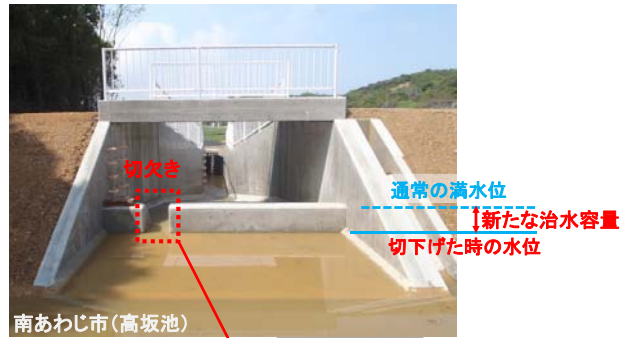
※池の内側から撮影 洲本市(葛尾)

満水位下**0.5m**の水位下げを実施した場合、満水面積1.4 haの池で、**約7千 $m^3$** の貯留が可能

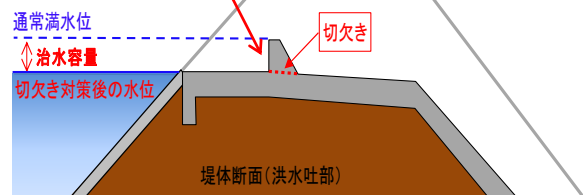
**25mプール**(25×12×1.2)の**約19杯相当**

### 洪水吐改良型

洪水吐に**切欠きを設け**、水位を下げられるようにする。



南あわじ市(高坂池)



●ため池改修等に合わせた、事前水位下げのための放流施設等の整備  
17市町70箇所 (H26年9月時点) ※事業中含む

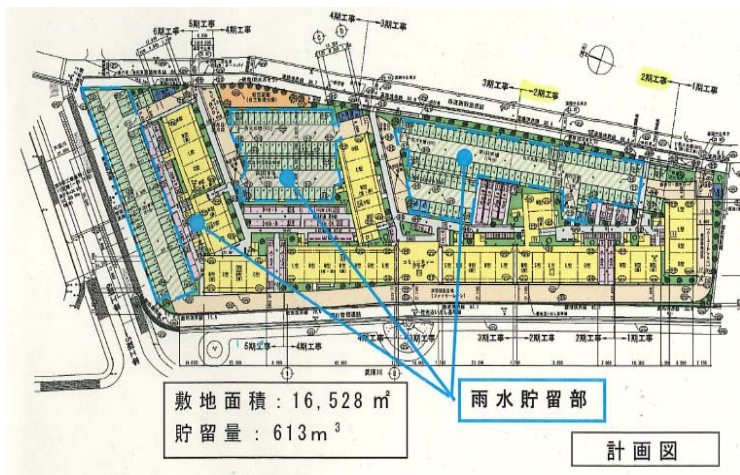
# 県下各地の取り組み 流域対策「ためる」

## (4) 県営住宅の建替えでの取り組み

県

○県営住宅の建替えに際して、敷地内の駐車場地盤面を約10cm下げ、雨水を一時貯留することで流出を抑制する。

○これまでに6箇所着手し、平成26~35年度までに20箇所を予定





# 県下各地の取り組み 流域対策「ためる」

## (5) 各戸貯留(各市町) 市町・県民

補助実施市町(H26.9現在)	
宝塚市	西宮市
伊丹市	尼崎市
芦屋市	洲本市
川西市	加西市
三田市	たつの市
養父市	赤穂市
猪名川町	稲美町
香美町	太子町



〔姫路市立別所小〕

雨の前は、水を抜いておこう！



これまで約**1,900**個の補助を実施

### 【その他 貯留浸透等の取り組み】

- ①公共施設(小学校等)での雨水貯留タンク等の設置  
神戸市、伊丹市、川西市、姫路市
- ②校庭の芝生化(小学校等)  
豊岡市

# 県下各地の取り組み 流域対策「ためる」

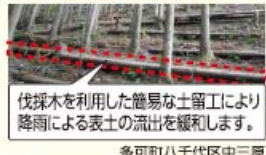
## (6) 県民みどり税を活用した取り組み 県・県民

### 森が本来もっている雨水を貯える能力の回復等に向けた取り組み



#### 災害に強い森づくり

##### ●緊急防災林整備



多可町八千代区中三原

##### ●里山防災林整備



豊岡市竹野町林

##### ●針葉樹林と広葉樹林の混交林整備



スギ・ヒノキの針葉樹林にさまざまな木を植えることで、雨水をたくわえ山くずれを防止する能力の高い森をつくります。

#### 新ひょうごの森づくり

##### ●森林管理100%作戦



間伐することで下草が回復

間伐することで、草木を育て、雨水をたくわえる能力などを回復させています。



##### ●森林ボランティアの育成



森林ボランティア調査(入門編)の様子

森林の恵みや大切さを学び、守り育てる人を育成しています。



### ○災害に強い森づくり (H25年度末 実績ベース)

緊急防災林整備 約16,200ha、里山防災林整備 約3,000ha、混交林整備 約1,270ha

## 県下各地の取り組み 減災対策「**そなえる**」

### ・建物や設備の耐水化

#### ■**県立病院の耐水化**（洲本市） **県**



・高さ約1.4mのフラップ式浸水防止壁



#### ■**民間病院の耐水化**（佐用町） **県民**



・高さ1.2mの門扉、建物内にアルミ止水板



7

## 県下各地の取り組み 総合治水の「**草の根的PR活動**」

### ・県民の認知度アップ

**ジオラマを活用した出前講座、PR展示 等**



小学5・6年生を対象に模型で実験



透水性アスファルトの違いを  
実際に水をかけて説明



青少年のための科学の祭典

⇒ **テレビ・新聞等にも掲載**

8